

わたしとも 私の友だち

URL: <https://youtu.be/Eadhzkp8ksk>

今回は「私の友だち」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+ 20 %) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立てください。

■ 私のこと

私の名前は山口ゆうたです。30歳で、東京に住んでいます。
子どものころから、テレビや本で外国の人の話を見るのが好きでした。大人になっても、いろいろな国のことを知りたいと思うようになりました。

ある日、町で外国の人と楽しそうに話している人を見かけました。二人はわらいながら話していて、そのようすを見て「いいな」と思いました。

私も、外国の人と話してみたい。どんなところでくらしているのか、どんな食べ物があるのか、そういう話を聞いてみたいと思いました。

もし友だちになれば、いっしょに話したり、どこかに行ったりして楽しい時間をすごせます。それは大人になった今でも、とてもすてきなことだと思います。

ことばがちがっても、気持ちがあれば、きっとなかよくなれます。

■外国人の友だちのこと

私には外国人の友だちがいます。アメリカ人のマークです。男の人で、32歳です。

マークとは、会社で知りあいました。マークは日本に来て3年たっていて、日本語の会話もとても上手です。はじめて会ったとき、「よろしく」と元気にあいさつしてくれました。そのときの明るいえがおが、いんしょうてきでした。

マークはとても元気で、いろいろなことにきょうみを持っている人です。話していると、気持ち明るくなります。

マークはまじめな人でもあります。会社では、時間をしっかりもっていて、よく考えて動いています。私がまちがえたときも、「だいじょうぶ」と言ってくれます。そんなマークを見て、私は「がんばろう」と思えます。

休みに、マークとカフェに行ったり、こうえんをさんぽしたりすることもあります。アメリカの食べものや、学生のころの話を聞くのも楽しいです。知らなかったことを知ることができて、世界が広がる感じがします。

マークは、今では私にとってとても大切な友だちです。ことばや文化がちがっても、わかり合えることがたくさんあると気づきました。これからも、たくさん話して、いろいろな時間をすごしていきたいと思っています。

■いっしょにしたこと

マークとは、これまでにいろいろなことをいっしょにしてきました。

日曜日には、近くのこうえんでバドミントンをします。天気がいい日には、外で体を動かすのがとても気持ちよくて、いい気分になります。マークはとてもすばやくて、私よりもよく動きます。でも、私が点を取ると、「すごいね！」と言って、手をたたいてほめてくれます。そのたびに、うれしい気持ちになります。

テレビゲームをいっしょにしたことがあります。マークはゲームの中でときどきしっばいして、「しまった！」と大きな声で言って、わらっていました。いっしょにわらえる時間は、とても楽しいです。

いっしょにご飯を食^{はん}べ^たに行^いったこともあります。ラーメンやすしなど、日本^{にほん}の食^たべものをいっしょに楽し^{たの}みました。マークはすしが^{だい}大^おすきで、「まぐろがいちばんうまい！」とうれしそうに言^いっていました。私の^{わたし}すきなラーメン屋^やさんをマークに^{おし}教^いえて、いっしょに行^いったこともあります。マークは「スープがおいしい」と言^いって、よろこんでくれました。

それから、マークの^{くに}国^このごはんをいっしょに^{つく}作^りったこともあります。マークが^{おし}教^おえてくれたのは、「チリコンカン」という^{りょうり}料^り理^りです。まめと^{にく}肉^{にく}を^{つか}た^{つか}くさん使^{つか}っていて、^{すこ}少^{すこ}し^{すこ}からいけれど、^{ふたり}と^{つく}と^{つく}ても^{おも}お^{おも}い^{おも}しか^{おも}った^{おも}です。二人^{ふたり}で^{つく}作^{つく}って、いっしょに^た食^{じかん}べ^{じかん}た^{じかん}時間^{じかん}は、^{おも}い^{おも}い^{おも}思^{おも}い^{おも}出^{おも}にな^{おも}って^{おも}います。

■文化^{ぶんか}のちが^{かん}い^{かん}を感じ^{かん}たとき

マークといっしょに^{ぶんか}す^{かん}ご^{かん}して^{かん}いると、文化^{ぶんか}のちが^{かん}い^{かん}を感じ^{かん}ることがあります。

たとえば、あいさつ^{あいさつ}のしかたがちがいます。日本^{にっぽん}では、あたまを^さ下^さげてあいさつ^{あいさつ}を^おす^おる^おことが^お多^おい^おですが、マークは手^てを^みふ^みって「やあ」と言^いいます。はじめ^{はじめ}て^{はじめ}見^みた^みときは、^{すこ}少^{すこ}し^{すこ}お^おど^おろ^おき^おま^おした^おです。でも、^{いま}今^{いま}ではマークのあいさつ^{あいさつ}にもな^なれ^なて、^{しぜん}自^{しぜん}然^{しぜん}に^{おも}思^{おも}える^{おも}よう^{おも}にな^{おも}りました。

時間^{じかん}の考^{かんが}え^{かた}方^{かた}もちがいます。日本^{にっぽん}では、^{じかん}や^{すこ}く^{すこ}の^{はや}時^い間^まより^ま少^まし^ま早^まく^ま行^まって^ま待^まつの^まが^まよ^まいと^まさ^まれ^まます。でも、マークは「^{じかん}ち^{すこ}う^{はや}ど^いの^ま時^ま間^まに^ま行^まく^まの^まが^まい^まち^まば^まん^まい^まい」と言^いいます。たしかに、マークは^{じかん}い^{すこ}つ^{はや}も^いび^いつ^いた^いり^いの^い時^い間^いに^い来^いま^いす。私^{わたし}は^は早^はく^は着^はいた^はら^は本^{ほん}を^よ読^よん^よだ^より^よして^よす^よご^よせ^よる^よので、^きと^きく^きに^き気^きに^きは^きな^きり^きま^きせん^きが、こ^{かん}う^{かん}い^{かん}ち^{かん}が^{かん}い^{かん}も^{かん}お^{かん}も^{かん}し^{かん}ろ^{かん}い^{かん}と^{かん}感^{かん}じ^{かん}ま^{かん}す。

それから、話^{はな}し^{かた}方^{かた}や^き気^きも^きち^きの^き伝^{つた}え^{かた}方^{かた}もちがいます。マークは、^{おも}思^{おも}った^{おも}こ^{おも}と^{おも}を^{おも}す^{おも}ぐ^{おも}に^{おも}言^{おも}い^{おも}ま^{おも}す。た^{わたし}と^{わたし}え^{わたし}ば、^き私^{わたし}が^きつ^きか^きれ^きて^きい^きる^きと^きき、^き「^き今^き日^きは^きつ^きか^きれ^きて^きる^き？」と^きま^きっ^きす^きぐ^きに^き聞^きい^きて^きく^きれ^きま^きす。日本^{にっぽん}では、^いそ^いう^いう^いこ^いと^いを^いは^いっ^いき^いり^い言^いわ^いな^いい^い人^{ひと}も^{ひと}多^おい^おい^おので、^{すこ}さ^{すこ}い^{すこ}し^{すこ}と^{すこ}ま^{すこ}ど^{すこ}い^{すこ}ま^{すこ}した^{すこ}です。でも^{いま}今^{いま}では、マークの^{かん}やさ^{かん}しさ^{かん}を^{かん}感^{かん}じ^{かん}ら^{かん}れる^{かん}よう^{かん}にな^{かん}りました。

マークも、日本^{にっぽん}の^{ぶんか}文^{ぶんか}化^{ぶんか}に^いお^いど^いろ^いく^いこ^いと^いが^いあ^いった^いそ^いう^いです。「^{いえ}家^{いえ}に^{はい}入^{はい}る^{はい}と^{はい}き^{はい}に^{はい}く^{はい}つ^{はい}を^{はい}ぬ^{はい}ぐ^{はい}こ^{はい}と」や、「^{はな}て^{かた}い^{かた}ね^{かた}い^{かた}な^{かた}話^{かた}し^{かた}方^{かた}」が^{はな}む^{はな}ず^{はな}か^{はな}しい^{はな}と^{はな}話^{はな}し^{はな}て^{はな}い^{はな}ま^{はな}した^{はな}。私^{わたし}は^おで^おき^おる^おだ^おけ^おだ^おけ^おゆ^おっ^おくり^お、^おわ^おか^おり^おや^おす^おく^お教^おえ^おる^およう^おに^おし^おて^おい^おま^おす。

文化のちがいにとまどうこともありますが、そのなかでおたがいに学べることもたくさんあります。国や文化がちがっても、話し合えばわかり合えると私は思っています。

■なかよくなれた理由

マークと知りあったころ、私はまず、話すスピードに気をつけました。マークは日本語が上手ですが、むずかしいことばはわからないこともあります。だから、できるだけゆっくり、はっきり話すようにしました。そうすると、マークも安心して話してくれるようになりました。

また、わからないことがあったときは、すぐに聞くようにしました。マークも、日本のことばやしゅうかんでわからないことがあると、「これはどういう意味？」とすぐに聞いてくれます。そのとき私は、どうすれば伝わるかを考えながら、できるだけわかりやすく説明するようにしています。おたがいにちがうところがあっても、それを気にしすぎないことも大切だと思いました。文化のちがいや、食べもののすききらいなど、いろいろちがうことがあります。でも、それを二人でわらって話すことで、気持ちも楽になります。マークとすごす中で、「ちがいはこわいものではなく、おもしろいもの」だと感じるようになりました。

マークは、私がまちがえたときでもわらいません。そして、やさしく「だいじょうぶ」と言ってくれます。その言葉に何度も助けられました。こうしたやさしさが、私たちがなかよくなれた大きな理由のひとつだと思います。

文化やことばがちがっても、おたがいを大切にしながらいっしょにすごせるのは、本当にすてきなことです。マークとの出会いを通して、なかよくなるためには、「話す」「聞く」、そして「りかいしようとする気持ち」が大切だと思いました。

■^{がいこくじん}外国人の^{とも}友だちがいてよかったこと

マークと^{とも}友だちになって、よかったと^{おも}思うことがたくさんあります。

まず、マークと^{はな}話すことで、^{いま}今まで知らなかったことを^{まな}学ぶことができました。アメリカには、^{にほん}日本にない^{しゅうかん}しゅうかんや^{ぎょうじ}行事があります。たとえば、ハロウィンの日には、^こ子どもたちが^{いえ}家をまわっておかしをもらうそうです。私はそれをテレビでしか見たことがなかったので、「^{ほんとう}本当にこんなことがあるんだ」とびっくりしました。まるで映画の中のようなできごとが、マークの国では^{ほんとう}本当に^{おこな}行われていると知って、^しおどろくと^{どうじ}同時に^{おも}おもしろいと思いました。

マークと^{はな}話していると、^{にほん}日本のことについても、あらためて^き気づくことがあります。日本では「^{くうき}空気を読むこと」が大切にされますが、マークは「^{おも}思ったことは、^いはっきり言ったほうがいい」と言います。その^{はなし}話を聞いて、「^{たしかに}たしかに、^{たいせつ}どちらも大切だな」と思いました。マークとの^{かいわ}会話は、自分の^{かんが}考えを広げてくれる^{じかん}時間です。

マークが^{わたし}私の^{いえ}家に来たとき、^{わたし}私の^{つく}つまが^{にほん}作った^{りょうり}日本料理を^た食べて、「^{すごく}おいしい！」と^{おお}大きな^{こえ}声で^い言ってくれました。そのとき、^{じぶん}つまは^{くに}とても^{りょうり}よろこんでいました。自分の^{じぶん}国の^{かん}料理を^{ほめて}ほめてもらうのは、^{うれしい}やっぱりうれしいことです。

また、^{わたし}私が^{にほんご}マークに^{おし}日本語を教えたとき、「このことは、^{むずかしい}むずかしいけど、^{おもしろい}おもしろいね」と^い言ってくれました。そのとき、^{わたし}私が^{なに}ふだん^{つか}何げなく使っている^{にほんご}日本語が、^{がいこく}外国の^{ひと}人には^きとくべつに^{きこえる}聞こえることがあると^き気づきました。あらためて、^{にほんご}日本語の^{かん}よさを感じました。

マークと^{じかん}すごす^{まいにち}時間は、^{あた}毎日が^{あたら}新しいけいけんです。マークと^し知りあってから、^{わたし}私の^{せかい}世界は^{おお}大きく^{ひろ}広がったと^{おも}思います。外国の^{がいこく}友だちが^{とも}いることで、^{じぶん}自分の^{まわりの}まわりのことも、^{まえ}前より^{たいせつ}大切に^{おも}思えるようになりました。これは、^{わたし}私にとって^{ほん}本当に^{おお}大きなことです。

■いろいろな人と友だちになるために

外国の人と友だちになるには、いくつか大切なことがあると思います。

まず、えがおで話すことです。ことばがちがっても、えがおがあると安心できます。マークとさいしょに会ったとき、私は少しきんちょうしていましたが、マークがえがおで話してくれたので、すぐに安心できました。

そして、こわがらずに話すことも大切です。日本語がうまく通じるかしんぱいな時もあります。でも、まちがえても気にしないで、ゆっくり話せばだいじょうぶです。マークも、私が英語をまちがえたとき、「まちがえてもOK」と言ってくれました。だから、こわがらずに、まず話しかけてみるのがたいせつです。

また、相手の話をよく聞くことも大事です。自分の国のことだけでなく、相手の国のことを知ろうとする気もちが、友だちになる第一歩になります。私はマークの国のことをたくさん聞きました。食べものや行事、学校のことなど、いろいろな話を聞く中で、マークのことをもっと知ることができました。

好きなことや、しゅみが同じだと、もっとなかよくなれます。マークとは、ゲームやスポーツがすきという共通点があったので、すぐにうちとけることができました。同じことが好きな人とは、話すこともふえて、いっしょにすごす時間も楽しくなります。

文化がちがっても、気もちがつながれば、友だちになることはできます。「ちがうこと」は、わるいことではなく、「おもしろいこと」だと思おうようにすると、もっと話すのがたのしくなります。いろいろな国の人と出会うことは、自分の世界を広げてくれます。だから私は、これからもたくさんの人と話して、友だちになりたいと思っています。

「私の友だち」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI